

## 目標達成計画

作成日：平成 27 年 2 月 22 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	7	研修や会議の場で虐待に関する情報は得ているが、日々の援助の中で明確な基準を設けていないので職員一人一人の主観で判断してしまっている。	職員一人一人の主観的な判断ではなく、施設として明確な基準を設けていく。	虐待には、①身体・②心理・③性・④経済・⑤介護、世話の放棄、放任がある。それに対して、施設ではどこが不十分なのか情報収集をして、出来ていない所を出来るように会議や日々の援助の中で職員に伝えていく。	12ヶ月
2	35	消防訓練について、今年度は年1回しか行うことが出来なかった。	半年ごとに訓練を行う。年2回は、消防署職員による評価を受けていく。また、自主訓練についても定期的に行う。	自主訓練も含めて訓練回数を多くする。特に夜間帯には職員が2名体制であるので円滑に避難活動が出来るようにする。夜勤を行う職員には年に1回は担当となって訓練に参加出来るようにしていく。	12ヶ月
3	36	24時間365日、利用者様と接することから日々の援助の中で慣れ合いになってしまっていることがある。	接客業としての意識を構築していく。	接遇講師から出た指摘について改善していく。利用者様に対する言葉かけについて、職員同士で話し合い、問題がある場合にはその時に注意しあって直していく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。